2017年4月14日

いのちと時間

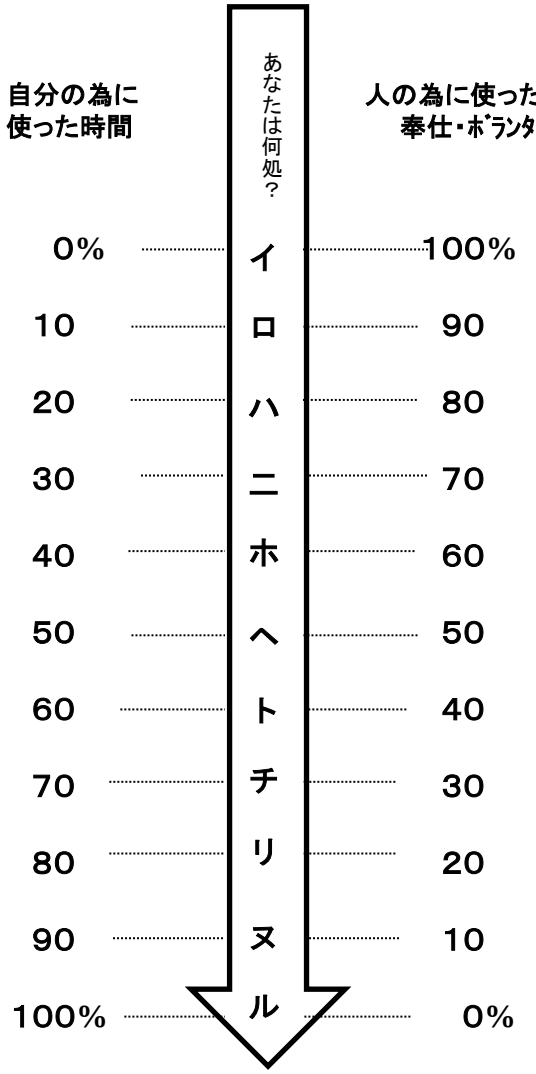
聖路加病院の日野原先生は100歳を超えた現在も、医療だけではなく色々な分野で現役で活動されています。
素晴らしいことです。子供のための教育、小学生を対象に「いのちの授業」も開催されています。

先生は10歳位の子供たちに、「いのちってなんだと思う？」と問われるそうです。子供たちは必ず心臓に手をあてるそうです。
先生は「それは違います、心臓はいのちではありません。単なるポンプです」と答えるそうです。
「いのちは見えないもの」です。「いのちとは私たちが持っている時間のことなんです」と答えるそうです。

「人間は限られたいのち=時間を持った生き物なのです」
時間を無駄にすることはいのちを無駄にしていることと同じなのです。

あなたはお母さんから生まれてきて、現在まで幅広い人生経験をしてきました。

誕生 → 家族との生活（幼児期・成長期） → 学校 → 職場 → 結婚・家庭 → 家族との生活 → 職場 クラブ活動 地域社会 → 定年 → 一生を終える



あなた自身の今までの人生を振り返り、
自分の為に使った時間と
人の為に使った時間の
バランスを考えてみましょう。

今までの人生の時間を100として何%位を人の為に使い、
何%位を自分の為に使ってきましたか？

自己評価をしてください。

あなたは<u>イ~ル</u>のどこでにいるとおもいますか？

貴方の持っている時間（いのち）をできるだけ
人の為に使いましょう！

気持ちが良いですよ・・・・・